

## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）	1
1. 先端科学技術研究科	3

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。



## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	研究活動の状況		研究成果の状況	
先端科学技術研究科	【3】	高い質にある	【3】	高い質にある



## 1. 先端科学技術研究科

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 ..... 4 )

( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 ..... 5 )

## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

### 〔判定〕 高い質にある

#### 〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

最先端の研究設備及び研究環境を有する研究拠点をエクセレントコアと位置付け組織的な支援を行った結果、外国人教員の割合が 22.8%に国際共著論文の割合が 44.9%、エクセレントコア 3 拠点における Top10%論文比率が 11.3%になっている。

#### 〔優れた点〕

- 外国人教員の獲得に取り組んだ結果、研究科本務教員に占める外国人教員の割合は、令和元年5月1日現在 22.8%となり、全国立大学の平均値（4.8%）の 4.75 倍の割合に上っている。
- 北陸先端科学技術大学院大学全体の発表論文数に占める国際共著論文の割合は、平成 27 年の 34.9%から平成 30 年の 44.9%へと大幅に上昇している。
- エクセレントコア 3 拠点における Top10%論文比率は、平成 26～平成 28 年の 3 か年平均値 9.2%から、平成 28～平成 30 年の 3 か年平均値 11.3%へと上昇しており、研究の質的向上が見られた。

#### 〔特色ある点〕

- 新たに「科研費獲得支援事業」を創設し、平成 29 年度から、科研費の申請状況に応じて教員研究費の配分額を連動させる仕組みを整備することにより、教員に科研費の申請を促している。その結果、研究科本務教員の科研費申請件数（新規）は、平成 28 年度の 106 件から平成 30 年度の 122 件へと増加し、本務教員一人あたりの申請件数も、0.828 件から 0.953 件へと増加している。

**分析項目Ⅱ 研究成果の状況**

**〔判定〕 高い質にある**

**〔判断理由〕**

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、10件、6件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、高い質にあると判断した。

特に、「二次元共有接合によって形成される有機骨格構造材料の設計と機能開拓」は、学術的に卓越している研究業績であり、「液体マテリアルサイエンスの新展開：液体シリコンのインプリント技術とインクジェット草木染め」は、社会・経済・文化的に卓越している研究業績である。